

みずほCustomer Desk Report 2025/11/17 号(As of 2025/11/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	154.74 AUD/USD
TKY 9:00AM	154.64	1.1628	179.88	1.3152	0.6527
SYD-NY High	154.75	1.1653	179.97	1.3199	0.6551
SYD-NY Low	153.62	1.1606	179.00	1.3109	0.6504
NY 5:00 PM	154.53	1.1622	179.60	1.3175	0.6537
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	47,147.48	▲ 309.74	日本2年債	0.9300%	0.0000%
NASDAQ	22,900.59	30.23	日本10年債	1.7000%	0.0100%
S&P	6,734.11	▲ 3.38	米国2年債	3.6058%	0.0179%
日経平均	50,376.53	▲ 905.30	米国5年債	3.7284%	0.0262%
TOPIX	3,359.81	▲ 21.91	米国10年債	4.1492%	0.0349%
シゴ日経先物	50,490.00	340.00	独10年債	2.7161%	0.0297%
ロンドンFT	9,698.37	▲ 109.31	英10年債	4.5740%	0.1375%
DAX	23,876.55	▲ 165.07	豪10年債	4.4290%	0.0080%
ハンセン指数	26,572.46	▲ 500.57	USDJPY 1M Vol	8.79%	▲0.00%
上海総合	3,990.49	▲ 39.01	USDJPY 3M Vol	9.05%	▲0.07%
NY金	4,094.20	▲ 100.30	USDJPY 6M Vol	9.27%	0.03%
WTI	60.09	1.40	USDJPY 1M 25RR	▲0.89%	Yen Call Over
CRB指数	302.35	▲ 0.01	EURJPY 3M Vol	7.70%	▲0.09%
ドルインデックス	99.30	0.14	EURJPY 6M Vol	8.15%	0.00%

東京	東京時間のドル円は154.64レベルでオープン。米政府機関の閉鎖が終了し、今後発表される経済指標に関心が向かう中、154円半ばで方向感を欠く推移。結局ドル円は154.55レベルで海外へ渡った。
ロンドン	欧州時間のドル円は154.55レベルでオープン。154円台半ばでもみ合いとなったが、引けにかけては軟調な株式市場を横目にドル円相場は下落。153.82レベルで米国時間に渡った。
ニューヨーク	米国時間のドル円は米経済の先行きを巡る懸念が依然根強い中、153.62まで売られる。しかし、その後に米国とスイスが関税交渉を巡り合意したとの速報が伝わると、一転リスオンクムートが広がり、154.74まで反発。午後は週末を控える中、高値圏の154.60付近を挟んだ推移が続き、154.53レベルでクロス。一方、ユーロドルは先述の米国とスイスの関税交渉を巡る合意報道を受け、米金利の上昇に伴ったドル買いが優勢となり、1.1606まで下落する軟調な推移。午後は1.1620付近を中心とした推移が続き、1.1622レベルでクロス。

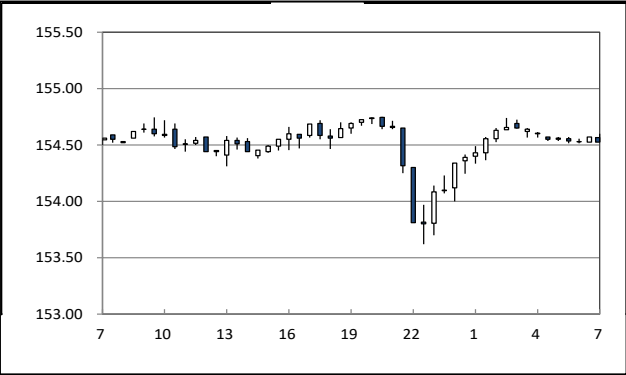
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月14日	11:00	中	小売売上高(前年比)	10月	2.9%	2.8%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	10月	4.9%	5.5%
	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)・確報	10月	0.1%/0.9%	0.1%/1.0%
	19:00	欧	GDP(前期比/前年比)	3Q S	0.2%/1.4%	0.2%/1.3%

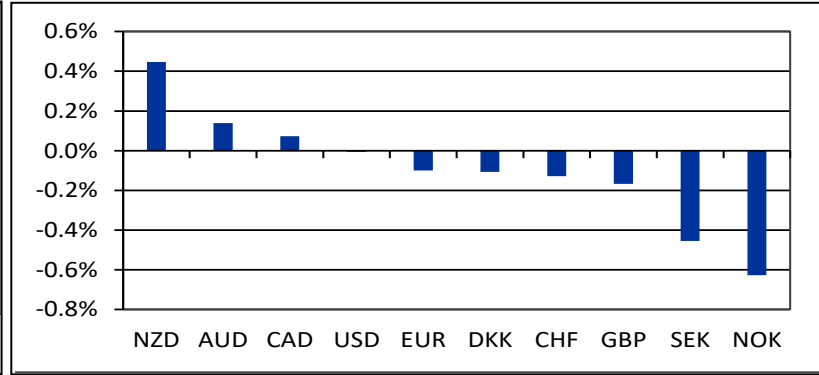
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月17日	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・速報	3Q	-2.4%	2.2%
	08:50	日	GDP(季調済/前期比)・速報	3Q	-0.6%	0.5%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	3Q	3.1%	3.0%
	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	9月	-	2.2%/3.4%
	22:30	米	NY連銀製造業景気指数	11月	5.8	10.7
	23:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-	-
	23:30	米	ジェファーソンFRB副議長 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.50	1.1560-1.1660	178.50-180.50

【マーケット・インプレッション】

米政府機関ではつなぎ予算が可決され、史上最長となる43日間の閉鎖を経て活動を再開。目先の不安要素が払拭されたことやFed要人からの相次ぐタカ派発言を受けた利下げ観測後退を背景に、ドル買い優勢となっている。本日は、本邦において7～9月期GDP(速報)が公表される。今回の成長率は法改正に伴う住宅投資の反動減、および駆け込み輸出の反動減などでマイナスがコンセンサスとなっている。5四半期連続のプラス成長を確保していた中、6四半期ぶりにマイナスとなれば、日本政府が経済政策の規模拡大を促す可能性はさらに高まろう。高市首相は積極財政と金融緩和継続でデフレからの完全脱却を目指す姿勢であることから、日銀の次回会合での利上げ見送りが意識されることで、本日のドル円は底堅く推移しよう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。